

認定NPO法人J.POSH
平田以津子理事

For the future generation!!

JGA がオフィシャルパートナーを務める 認定 NPO 法人 J.POSH の平田以津子理事にお話を伺いました。

— 認定 NPO 法人 J.POSH を設立されたきっかけを教えてください。

乳腺専門医である理事長の田中は、お姉さんを乳がんで亡くしました。検診でもっと早く見つかったら、お姉さんや患者さん達は助かったかもしれないという思いから、早期発見を啓発するために、高校の同級生である私達に声を掛けて始めた運動です。

— 年間どれくらいの方が、乳がんでお亡くなりになっているのでしょうか。

最近では年間 1 万 3 千人くらいの方が亡くなっています。乳がんによる死亡

率は、減少していません。日本では 40 才以上の方は 2 年に一度マンモグラフィーの検診を受けるように推奨していますが、受ける人が少ないのが現状です(検診率は約 30%)。いろいろなケースがありますが、その中でも救いは早期発見です。

— 早期発見、早期治療がとても大事なのですね。

早期で見つかり病気を乗り越えられた方の中には、乳がんになったからこそ出来ることを見出して生き生きと活躍されている方がたくさんおられます。早期発見はすごく大事で、自己検診を習慣づけることが重要です。お風呂でリンパマッサージをするつもりで、首筋から肩、脇、胸をさわる習慣をつけていると、小さな変化にも早く気付くと思うのです。自己検診せずに大きくなって気づくのでは「もったいない」です。自分でチェックしていたら早く見つける可能性があるのですから…J.POSH では月に 1 度は日を決めて、自分でチェックすることをお勧めしています。また、産婦人科は専門ではないので、気になることがあれば専門の乳腺科で相談してください。

— ピンクリボン運動をされている団体は他にもありますが、J.POSH 様だけが「奨学金まなび」といった患者さんの家族に対する活動をされていますよね。JGA はこの点にとっても共感しました。

J.POSH は 3 つのミッションに基づいて活動しています。一つ目は「全ての女性に対する啓発活動」、二つ目は「患者さんに対する活動」、三つ目は「患者さんの家族に対する活動」です。2007 年に九州で開催したイベントで、娘さんが乳がんで闘病中だという車いすのおじいさんと知り合いました。その半年後、娘さんはお亡くなりになり、お便りと共に娘さんが亡くなる前に最後の力を振り絞ってお子様へ書かれた手紙が同封されていました。そこには「高校 しゅうしょく」と書かれており、娘たちにはせめて高校は卒業してほしいというお母さんの思いに心うたれ、なんとか形にしたいと考えました。「奨学金まなび」はご寄付で成り立っています。支給を始めた 2009 年は 20 名でしたが今年度は 46 名に支給しています。

— 今後はどのような活動を予定されていますか？

今企画しているのは、高校生に向けた簡単なセミナーです。若いころから自分の体は自分で守ること学び、家族にも話しをすることで、家族への啓発につながると考えています。広くみなさんに知ってもらうにはどうすればよいかを常に考え活動していきます。

JGA では今後、J.POSH 様ご協力と承認の元、制作したグルーデコ®用のチャームと wglue、スワロフスキーのストーンを支給し、JGA 認定講師の皆様と共にグルーデコ商品を作ります。完成したチャームは、J.POSH 様に寄贈し啓発グッズとして販売していただき、その売り上げを活動に活用していただくといった、JGA ならではの活動を展開していきたいと考えています。メールマガジンなどで案内をいたしますので、講師の皆様ご協力をよろしくお願いいたします！

※自己検診の方法や、乳がんについての知識は認定 NPO 法人 J.POSH のホームページでご確認ください。

<http://www.j-posh.com/>



こんにちは!認定講師さん



4月のホビーショーで出会ったお二人の先生をご紹介します!

■ 千葉県 夏井千佳先生



はじめまして。千葉県で活動している夏井千佳です。

あっという間に過ぎた今年の上半期。やはり一番の思い出は、ホビーショーのお手伝い
ができたことです。緊張の連続でしたが、「一步を踏み出すことの大切さ」を実感するも
のでした。

実は…お手伝いのお話をいただいた時、ぜひ!と即答できたわけではありません。私に
務まるのかなと不安だったからです。まだどんな役割になるかも分からないのに…自分で
色んな不安を造ってしまったのですね(笑)

できない理由ばかり探さず、どうしたいか?を考えて飛び込んだホビーショー。いざ始ま
ると普段と違い戸惑うことだらけです。限られた時間・大人数・広い空間…お客様の笑顔
を見たい一心で頑張った1回目のワークショップは正直、あまり記憶がありません。でも、
そこには満面の笑顔のお客様がいらっしゃいました。「グルーデコの魅力が伝わった!」と
気づけてからは少しずつ緊張がほぐれて、周りの講師さんの素敵だと思ふ対応を勉強し

たり、お客様との会話を楽しめたり…私自身もその場を楽しめました。

沢山の学びがあったホビーショー。勇気を出して一步を踏み出して良かったです。見方を変えれば、必ず新しい発見があるんですね!こ
れからもその一步を大切にしたいと思います。



■ 千葉県 米田ともこ先生

こんにちは

東京のすぐお隣の千葉縣市川市でレッスンをしております、米田ともこです。

大阪出身でこちらにはもう28年も住んでいます。こちらに来た頃は「パンプスにキラ
キラがいっぱい付いてる子」と言われる位、ビジューストーンを複数付けることは関東
では珍しかったようです。

数年前からレジンや樹脂粘土系のアクセサリ教室をしていて、昨年7月にJGAの
グルーデコ®に出会いました。素敵なお縁で認定講座を受けました、自由が丘
DECORのお二人の先生方もJGAの本部も関西ということでJGAグルーデコ®協会は
とても居心地のよい、なんだかしっくり感じる大切な場所になりました。出会う皆さまが
素敵な方ばかりで、この1年間楽しいことばかりです。

そして今回、グルーデコ®の新刊本に作品を取り上げていただき、とても嬉しく、
そして感謝の気持ちでいっぱいです。

レッスンには幼稚園児から私よりもだいぶお姉様の生徒さんが来てくださっていて、誰にでも簡単に綺麗で完成度の高いものが作れたら
いいな。丈夫で気軽に使って楽しめるものが作れたらいいなど、日々無い知恵を絞っていました。そんなある日、たくさんの道具や材料
の中からシリコン型が目にとまりました。これなら誰でも簡単に見本と同じ形にできる!厚みも出るので強度も増すはず!と早速色々作って
みました。そしてホビーショーの時にブローチにして着けていたところを山岡理事に「それはどうやって作ってあるの?」とお声をかけてい
ただき、全国の皆さまにシェアする機会をいただきました。たくさんの方に楽しんで作っていただけると嬉しいです。講師の皆さまのアイ
デアをプラスして素敵な作品をお作りいただけますように。

今後またたくさんの方にグルーデコ®を通じてキラキラ輝いてもらえるように頑張ります。特に、アラフィフでも今からまだまだ輝ける!とい
うことを実践してお伝えしたいです。



米田先生が考案されたシリコン型を使った技法「スタイルセッティング」。シリコン型にグルーをセットするので簡単に同じものが作れます。
ワークショップや販売商品の制作ご活用いただけます。是非皆様も楽しんでください!

special
recipe

Powder on wGlue®

wGlue®の開発者に教えていただいた秘伝レシピ
作品の可能性が広がります♪

【用意するもの】

グルー
アイシャドウ ゴールド・ピンク・ホワイト・シルバー



お化粧品は、人の肌に直接触れても大丈夫なものなので使用しても安心です。
接着力の妨げとならないよう、なるべく細かい粒子のものがおすすめです。

※クリーム状のアイシャドウは粒子が粗いのでおすすめできません。

【手順】

- 1 グルーのAとBをよく混ぜ合わせ、ベースにセッティングします。
- 2 手袋をした指にアイシャドウを少しとり、セッティングしたグルーの上をなでてつけていきましょう。
むらがないようにつけましょう。
- 3 ストーンを置く場合は、この後に置きます。
- 4 上からやさしくなでて形を整えます。
24時間硬化したら完成です。

【レシピ】

wGlue®	アイシャドウ	仕上がりカラー
ジョンキル	ゴールド	ライトゴールド
シトリン	ゴールド	ゴールド
ライトコロラドトパーズ	ゴールド	ダークゴールド
ライトローズ	ピンク	ライトピンクパール
ローズ	ピンク	ピンクパール
フューシャ	ピンク	ダークピンクパール
クリスタル	ホワイト	ホワイトパール
ジェット	ホワイト	ブラックパール (明)
クリスタル	シルバー	シルバー
ジェット	シルバー	ブラックパール



パウダーなし



パウダーあり

J. Shen

Attention !

- ・お子様が誤飲されないよう手の届かないところで作業・保管してください。
- ・グルーを使用する際はゴム手袋を着用してください。体質によってはかぶれる場合があります。万一異常がありましたら医師にご相談ください。
- ・直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。

■ スタイルセッティングのシリコン図案公募！！

今号でご紹介した米田ともこ先生が考案されたスタイルセッティング。JGA からグルーデコ®用のシリコン型の販売を企画しています。そこで会員の皆様よりデザイン案を募集いたします。採用デザイン案は商品化し、10個プレゼント！こんなものがほしい、あったらいいなあ、など、たくさんのご応募をお待ちしております！

応募資格：JGA 会員

応募方法：5センチ×5センチにおさまるイラストをメールで送付。

(手書きのイラストの写真を撮影し、メールに添付可也。)

応募締切：2015年09月30日(水)

<応募要式>

メール宛先：nyasuda@wglue.co.jp(担当者：保田)

=====
件名：シリコン型デザイン案募集
=====

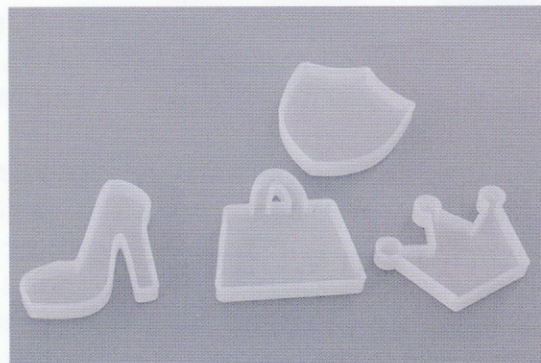
本文：

認定番号：

認定講師名：

=====
添付：5cm×5cm以内におさまるシリコン型デザイン案。手書きのイラストの写真(真正面)をとって送るのも可也。
=====

※応募はひとり何個でもOKです。(多い場合は複数のメールにわけてご送付ください)



sae's

天声人語

この記事を書いているのは、高校野球の代表校が揃った頃です。毎日うだるような、焦げるような日差しが8月。話題は早稲田実業の清宮選手だ。でも、この記事が届く頃はすでに高校野球の事などきつと誰も口にしていないのだらうとおもってしまうから皮肉です。

マスコミはもちろん、私たち消費者側も最近は一気に盛り上がり冷めるのも早い。でも、そんな風潮に惑わされることなく、ひたすらに自分の好きな事、得意な事、求められている事に几帳面に向き合ってマイペースに積み重ねている人は強い。

流行りだとか、ブームとかに踊らされることなく、自分が良いと思っている事を貫いている人も同じ。「この感じはあの方の作品」そんな風に認められるともう、その人の世界が出来上がっている。

実は私がまだそんな自分の世界を持っていない頃、何かで自分の覚悟を表明したい。そう思って実行したことは「名刺と領収書」この二つにお金をかけた。かけたといつてもそんな大金を出したわけではなく、ちゃんと作ったという方があっている。

自分で印刷した名刺ではなく、印刷してもらった名刺と市販の領収書を使うのではなく、住所と名前と番号がちやんと印刷されている領収書。この二つはお金をかけた事に全く後悔していない。自己満足なのかもしれないが、手渡す相手がいる。そこにこだわりを持つことがやっぱり大切なものかもしれないと、夏の日差しの照り返すビルの窓を眺めて考えています。



編集後記

- ◆病気になって初めてわかる健康であることの幸せさ。見つかってから後悔するのは「もったいない」という平田理事の言葉が印象的でした。自分の為に、家族の為に、元気にお仕事ができるようにセルフチェックをはじめましょう！
- ◆9月10日にグルーデコ®本第二弾「はじめのグルーデコ」(永岡出版)が発売になります！初心者から講師の先生方まで楽しめる内容で

す。是非、書店でご覧ください。

- ◆8月より認定講師専用サイトが移転しました。ブックマークなどの変更をしていただき、ログインできるかご確認ください。
- ◆最近郵便物が届かないなどの事故が多発しています。本部への申請書類の発送などは、追跡調査ができるものをおすすめします。大事な商品等の発送も注意して行ってください。

JGA 通信

2015年秋 通巻5号

発行：一般社団法人日本グルーデコ協会
 発行者：山岡まさえ
 住所：〒541-0041
 大阪府中央区北浜三丁目6番13号
 日土地淀屋橋ビル8階
 TEL：06-4707-0888
 FAX：06-6120-2535
 E-mail：jga@wglue.co.jp
 URL：http://www.wglue.co.jp/